

MADDOCA-PPP対応みちびき海象ブイを活用した海外向け漁業支援システム

日東製網株式会社

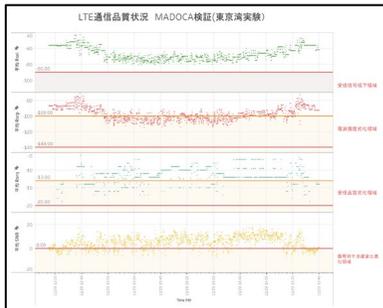
- 世界的な魚食ブームから、儲かる漁業を支援する海況モニタリングの重要性が増している
- 「安全な操業と効率的な漁業」に向けて海況を知る漁業支援システムの実用化が必要
- 台湾定置網でも利用できるMADDOCA-PPP対応「みちびき海象ブイ」の実証実験を行った
- 太陽光発電のみで、海外においてもcm精度の波高・潮位データの連続取得が確認できた
- 漁業向け連続かつメンテナンスフリーの海況モニタリングシステムの海外展開を目指す

①現地事前調査



現地にて通信感度調査

②国内調査



東京湾にて事前実験

③現地実証実験



台湾台東の定置漁場にブイを設置して、波高・潮流、水温データを取得

